



2020年5月期第2四半期 決算説明資料

東海ソフト株式会社

証券コード：4430



東海ソフト株式会社

代表

代表取締役社長

伊藤 秀和

設立

1970年

本社

愛知県名古屋市

資本金

6億4,558万円

従業員

468名

(2019年5月末日)

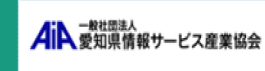
東証市場第2部

名証市場第2部

証券コード

4430

主な加盟団体



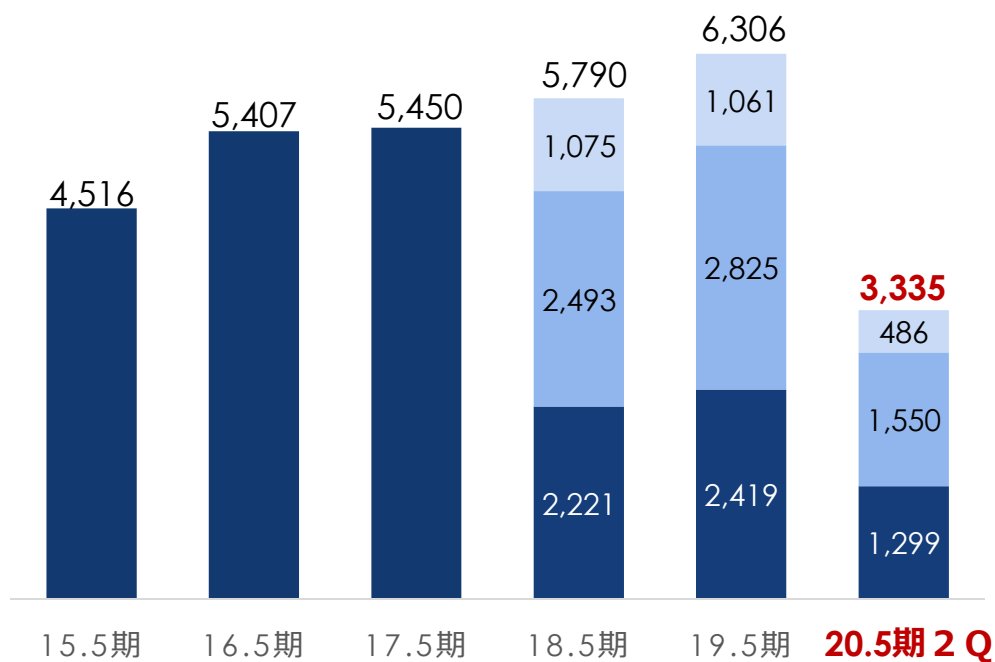


事業報告

2020年5月期第2四半期は、過去最高の売上と経常利益を達成

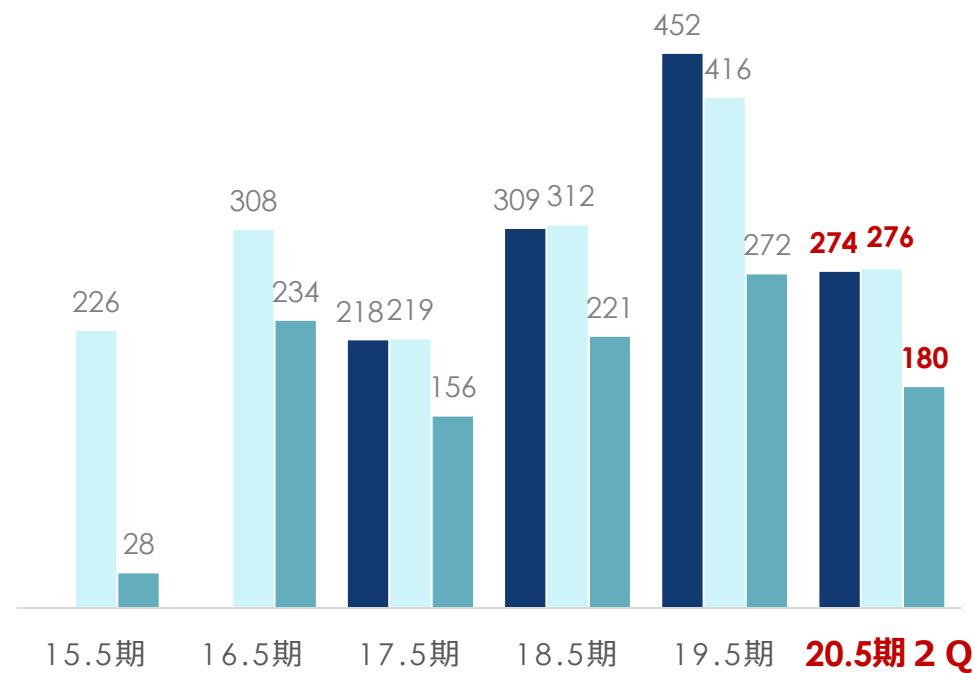
売上高の推移 (百万円)

- 金融・公共関連事業
- 製造・流通及び業務システム関連事業
- 組込み関連事業



利益の推移 (百万円)

- 営業利益
- 経常利益
- 当期純利益





2020年5月期業績予想に対する進捗率

	2020年5月期 予想	2020年5月期 2Q実績	対予想 進捗率
売上高 (百万円)	6,550	3,335	50.9%
販売管理費 (百万円)	992	486	49.0%
営業利益 (百万円)	456	274	60.1%
経常利益 (百万円)	460	276	60.0%
純利益 (百万円)	293	180	61.8%
1株当たり純利益 (円)	62.69	38.71	61.8%

	2019年5月期2Q		2020年5月期2Q		前年同四半期比	
	実績	対売上比率%	実績	対売上比率%	増減値	増減率%
売上高	2,902	—	3,335	—	+433	+14.9
売上総利益	646	22.3	760	22.8	+113	+17.6
販売費及び一般管理費	439	15.1	486	14.6	+46	+10.7
営業利益	207	7.1	274	8.2	+66	+32.2
経常利益	202	7.0	276	8.3	+73	+36.1
当期純利益	132	4.6	180	5.4	+48	+36.7
1株当たり当期純利益 (円)	40.02	—	38.71	—	—	—
自己資本比率(%)	46.3	—	60.1	—	—	—

1

第2四半期売上高及び経常利益において過去最高を記録

2

東証1部及び名証1部の指定に向けた準備

3

本社及びソフトウェア開発センター建設開始（2021年春竣工予定）

4

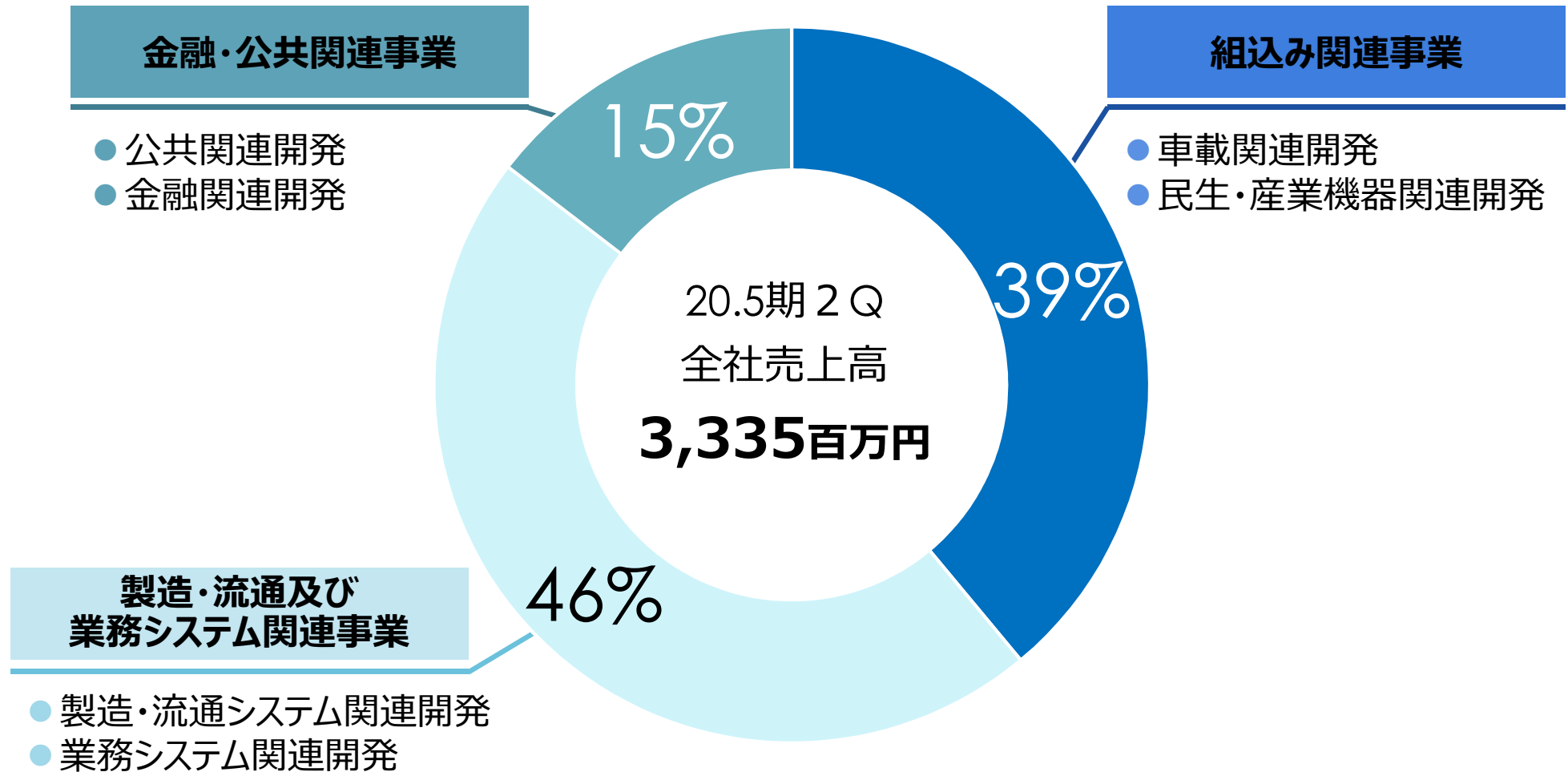
つなぐ・見える・監視するソリューション「+FORCE」を発表

5

基幹業務システムの刷新（来2021年5月期より一部稼働予定）

「+FORCE」は当社の産業向け開発技術とノウハウをまとめた製造業のデジタルトランスフォーメーションを支援するソリューションです。

金融・公共関連事業比率の減少は、その他事業の好調な結果によるものです。



事業区分別売上の推移

	2019年5月期2Q	2020年5月期2Q	対前年比 (増減率)
全社売上高 (百万円)	2,902	3,335	+14.9%
組込み関連事業	1,199	1,299	+8.3%
製造・流通及び 業務システム関連事業	1,202	1,550	+28.9%
金融・公共関連事業	500	486	△2.7%

事業区分別売上総利益の推移

	2019年5月期 2Q	売上 総利益率	2020年5月期 2Q	売上 総利益率	対前年比 (増減率)
全社(※) (百万円)	646	22.3%	760	22.8%	+17.6%
組込み関連事業	191	15.9%	254	19.5%	+33.0%
製造・流通及び 業務システム関連事業	373	31.0%	394	25.4%	+5.7%
金融・公共関連事業	102	20.4%	89	18.4%	△12.4%

(注) 当社は単一セグメントでありますので事業区分別総利益の合計は損益計算書の売上総利益と一致いたしません。

事業区分別売上



組込み関連事業

組込み関連事業のトピックス

1

APTJ社「Julinar(AUTOSARパッケージソフト)」が正式リリース、AUTOSAR関連開発売上が増加

2

MBD関連の開発技術教育が進捗、関連技術の受注が拡大

3

産業機器メーカーの新製品・新技術開発が堅調に推移

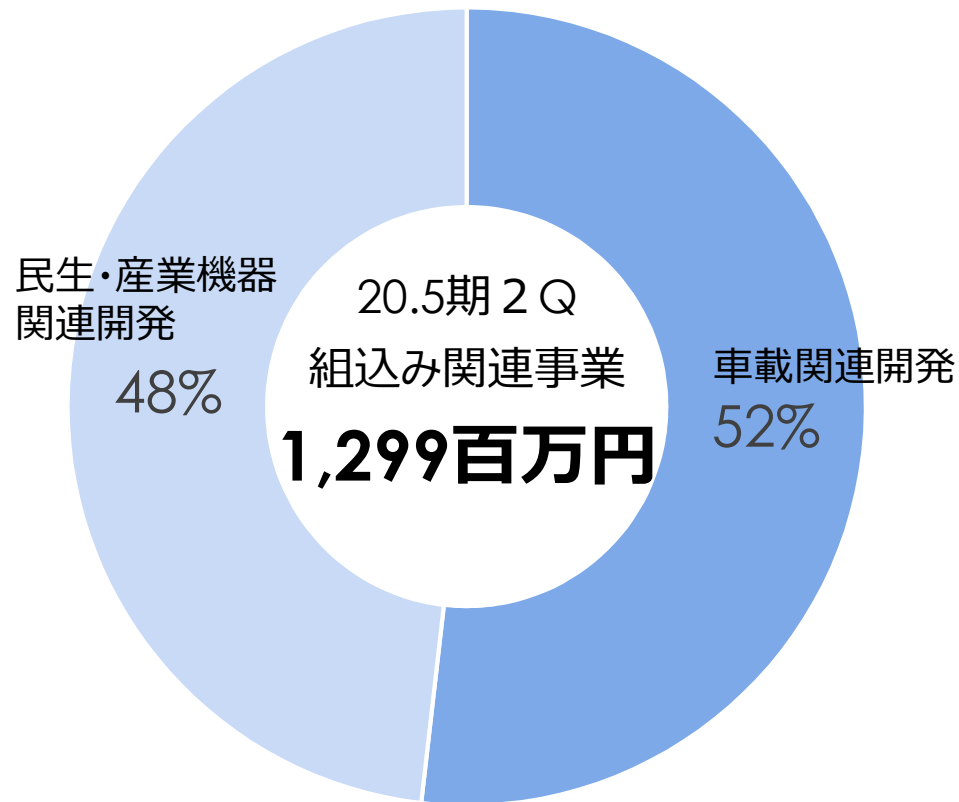
APTJ社は、名古屋大学発のAUTOSARソフトウェアプラットフォーム開発会社（2014年設立）
AUTOSARは、欧州の自動車関連メーカーが中心となり策定された車載組込ソフトウェアの標準規格
MBD(Model Based Development)は、数学・物理モデルをベースにソフトウェアの仕様や動作を定義・確認する開発手法

組込み関連事業

■ 車載及び産業機器の新技术・新製品に関する開発事業

◆ 車載関連では**トヨタグループ**が**68.7%**

◆ 民生・産業機器関連では、**富士電機**が**69.1%**



事業区分別売上



製造・流通及び業務システム関連事業

製造・流通及び業務システム関連事業のトピックス

1

製造実行管理システムパッケージ（Apriso）関連開発が拡大

2

国内製造業・物流業からの引合いは好調、売上も堅調に推移

3

つなぐ・見える・監視するソリューション「+FORCE」を発表

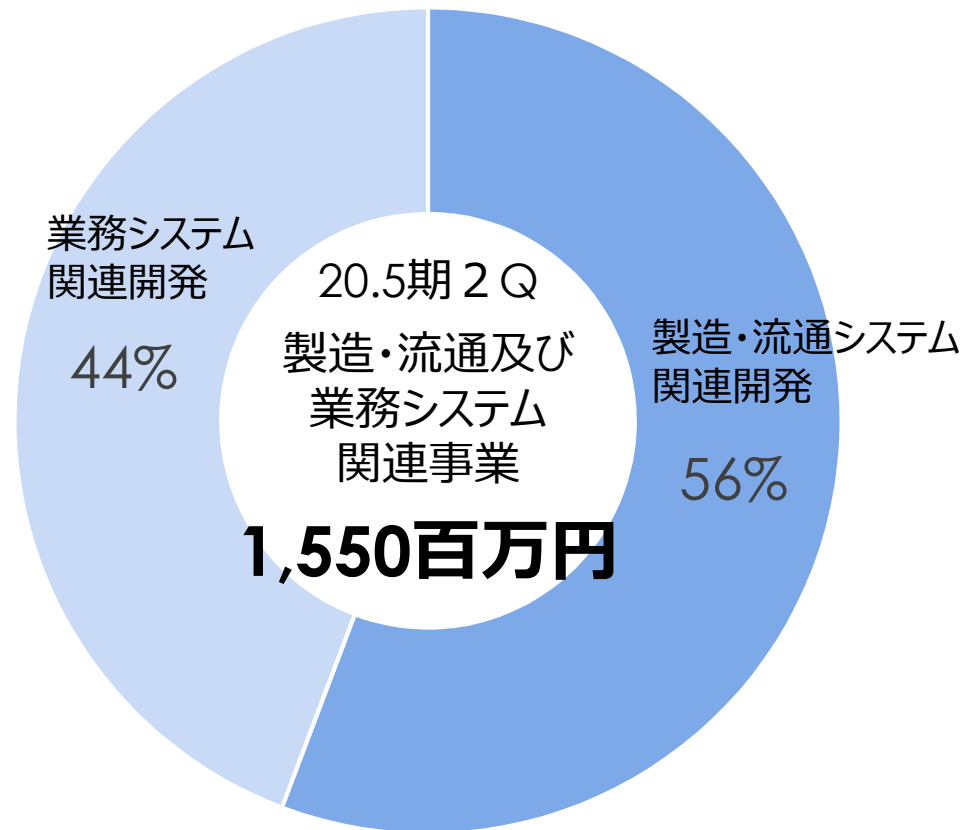
製造実行管理パッケージ「Apriso」は、ダッソー社（仏）の製品

「+FORCE」は当社の産業向け開発技術とノウハウをまとめた製造業向けデジタルトランスフォーメーションを支援するソリューション

製造・流通及び業務システム関連事業

- 製造・物流業を支える多彩な開発事業を展開

2020年5月期第2四半期の取引先は**134社**
上位10社売上が全体の50.2%



事業区分別売上



金融・公共関連事業

金融・公共関連事業のトピックス

1

公共関連開発は順調に推移、堅調な売上実績

2

今後の大規模公共関連開発につながる開発案件を受注

3

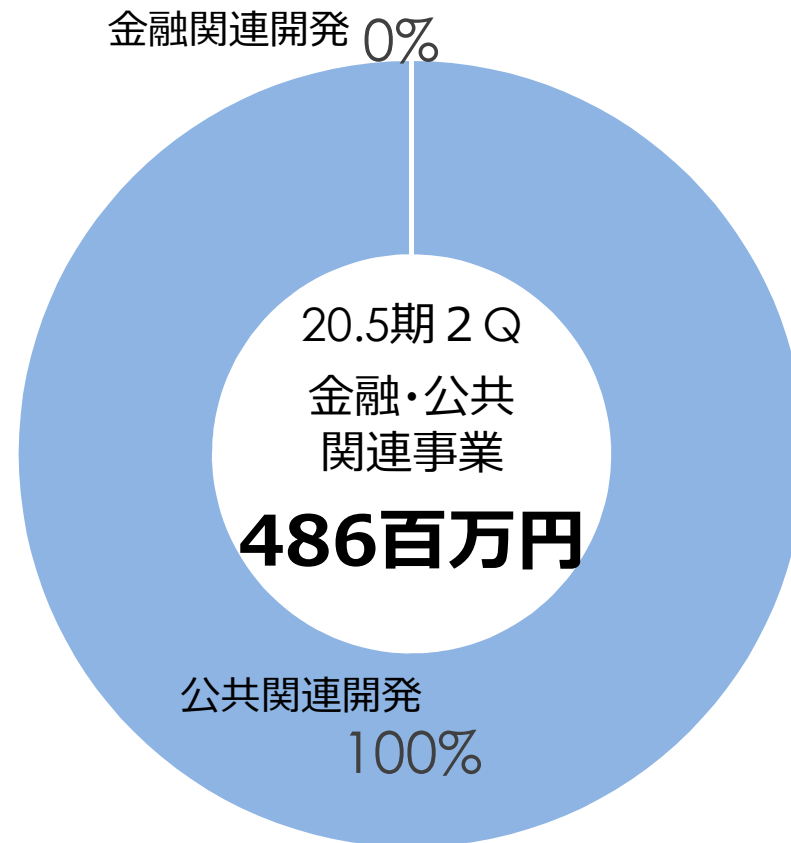
金融関連開発の要員を、公共及びその他事業へ再配置

金融・公共関連事業

- 大手SIerのパートナー企業の一員として、安定した顧客基盤の事業を展開

◆ 日立グループが100%

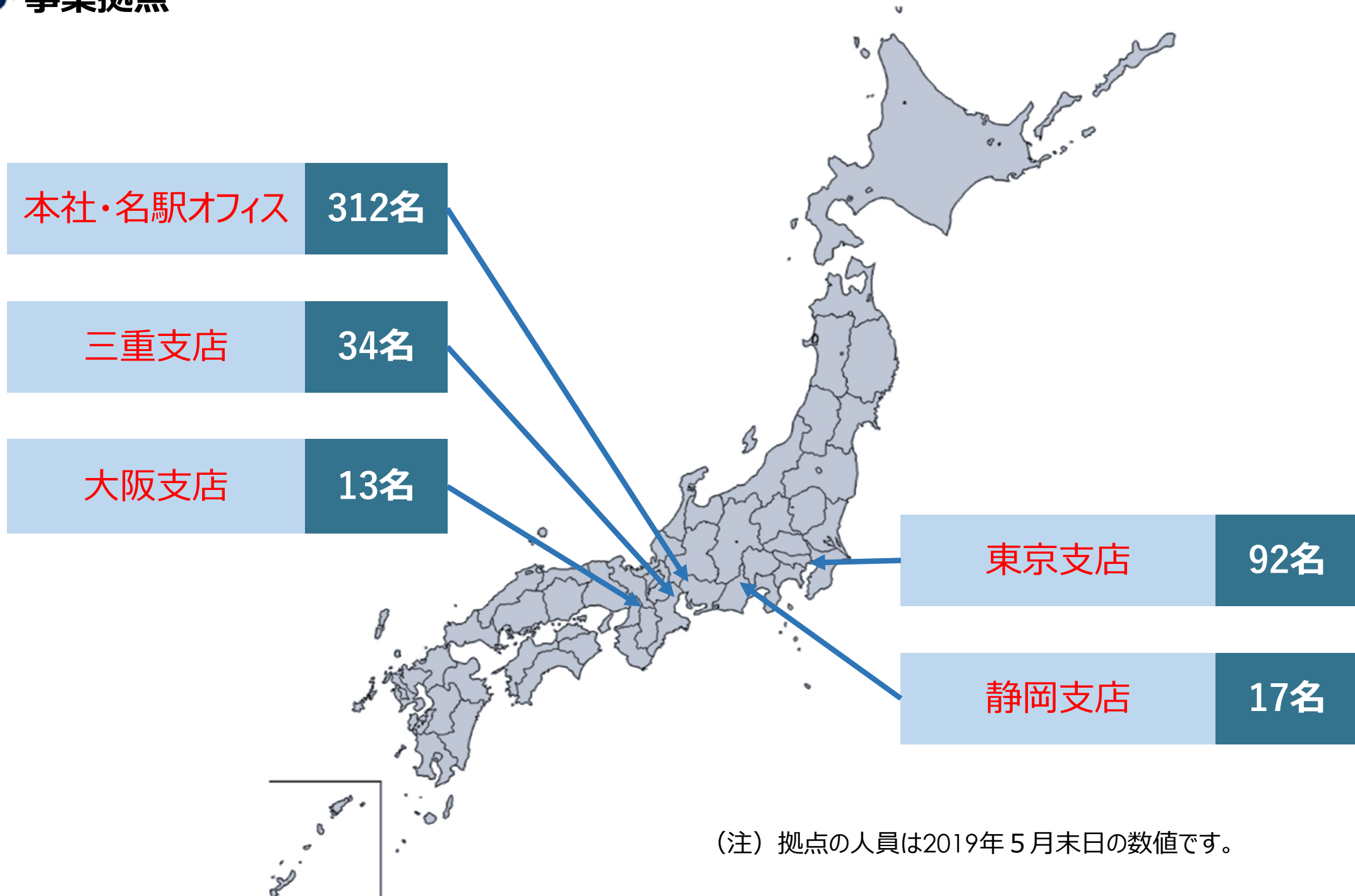
メガバンク案件の終了にともない、金融関連開発要員を公共及びその他事業へ再配置



SIerとは、ソフトウェアやコンピュータハードウェアを一括受注しシステム開発を請負う事業者



參考資料



日本の産業力の要である製造業をソフトウェア技術で支えてきました。

(億円)

予想値

65.5

63

57

54 54

リーマンショック

ITバブル

バブルショック

1970年5月
設立

71

76

81

86

91

96

01

06

11

15

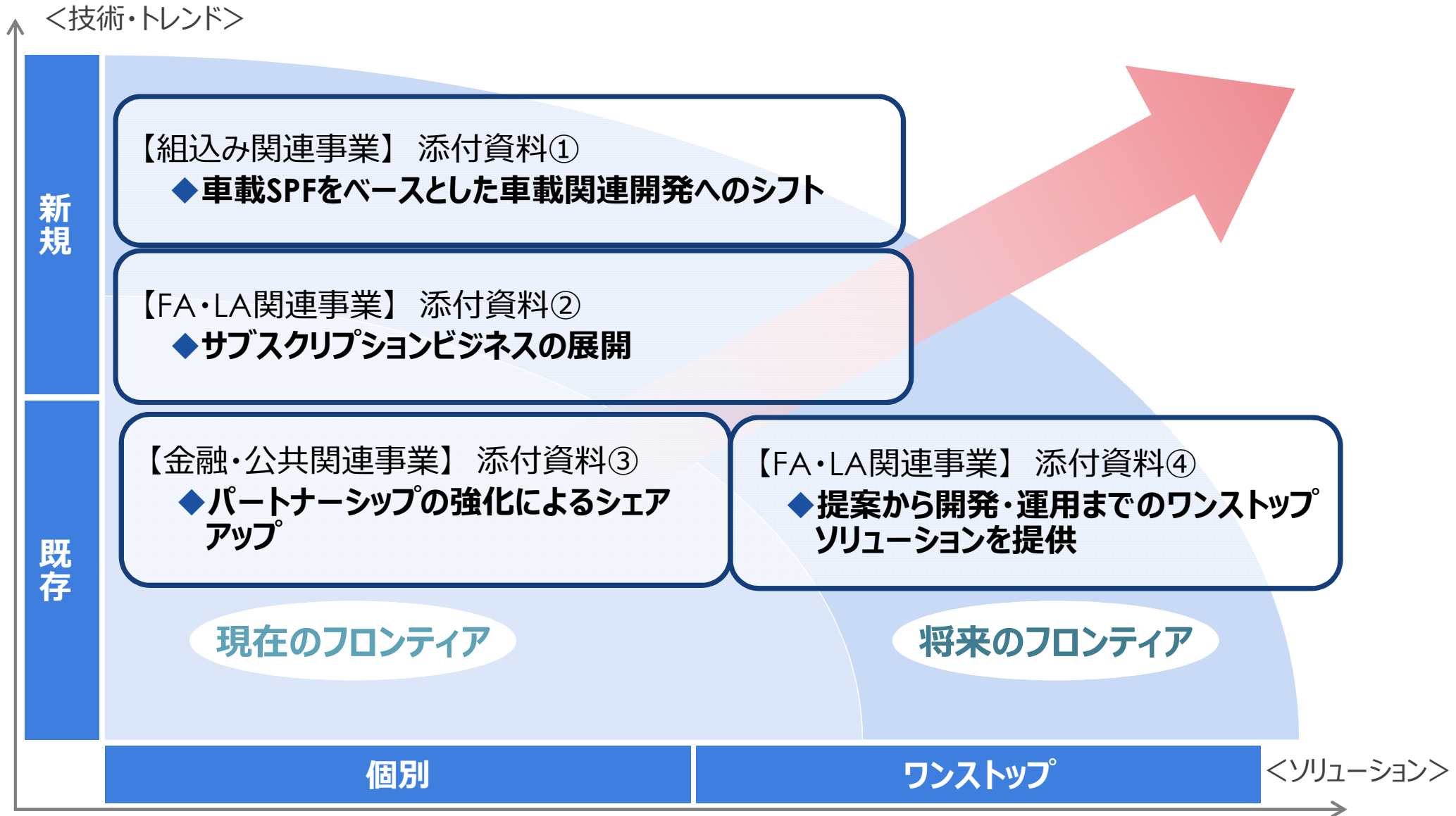
2020年5月期
(決算期)

製造・流通及び業務システム関連事業

1978年：金融・公共関連事業

1980年：組込み関連事業

- 第4次産業革命の先にあるDX（デジタルトランスフォーメーション）に向け、確かな技術と多様なパートナーシップを基に、安定的な成長をめざします。



1

対売上経常利益率7%達成と株主還元（配当金15円※1）

2

採用の強化と更なる社員教育の充実

3

業務ソリューション分野の強化（2025年問題を商機と捉え）

4

トータルソリューション提案に向けた3事業分野の融合

5

東証1部・名証1部への指定

※1 2019年11月1日付株式分割後の金額であります。

2019年11月1日付（効力発生日）で株式分割（1：2）を実施

目的

1 株式流動性の向上

2 株主層の拡大

株式分割に加え東証1部・名証1部指定を目指し準備中

本社及びソフトウェア開発センターの建設を開始

目的

1

分散した開発拠点を集約し、
交通至便地（リニア開通）へ移転

2

事業間連携による開発力の強化

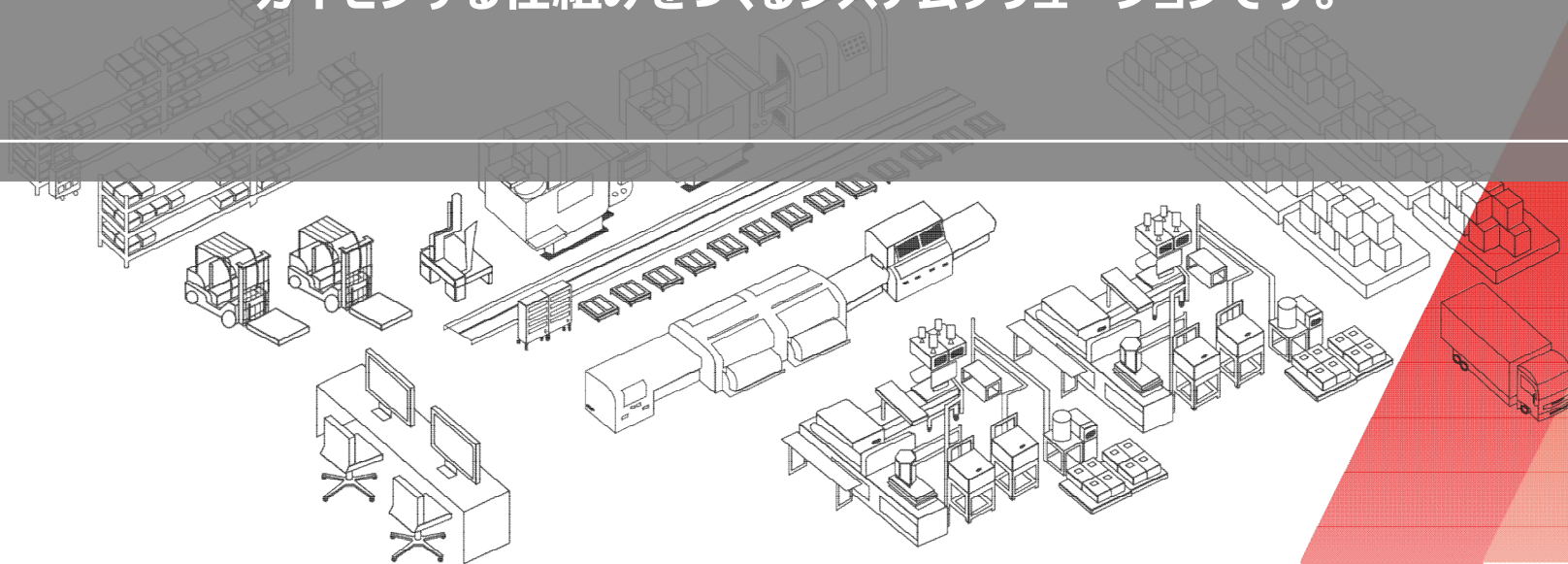
3

開発ツールや開発ノウハウの共有

リニア中央新幹線は2027年の開業予定

製造現場各所に発生する問題点をカイゼン。

+FORCE（プラスフォース）は製造現場各所に発生する問題点をカイゼンする仕組みをつくるシステムソリューションです。



+ FORCE ソリューション例 (1/2)

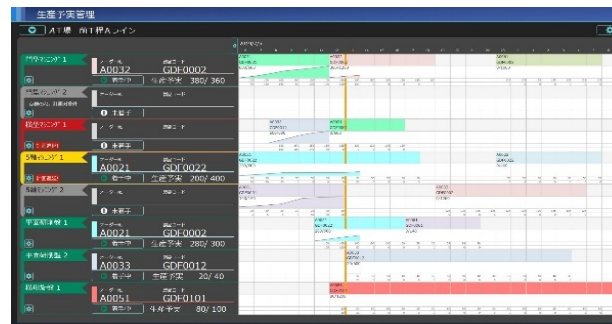
進捗が見えない！

ProcessMonitor
工程管理



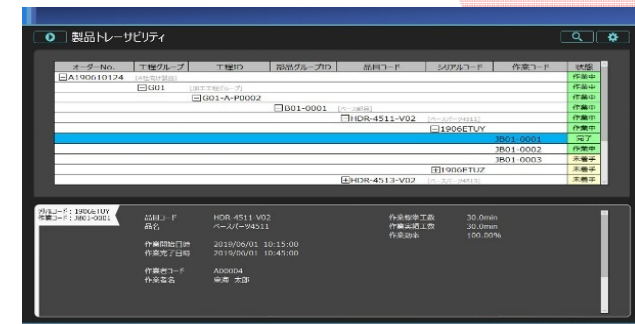
予定との乖離が知りたい！

PerformanceMonitor
予実稼働管理



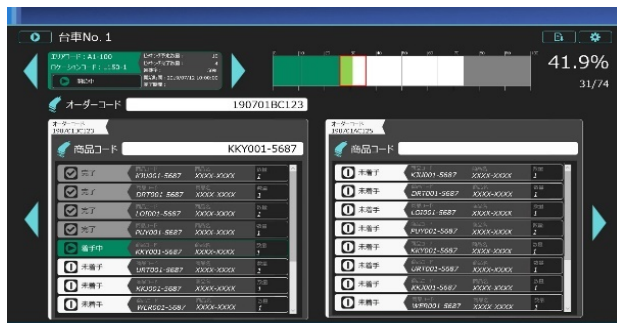
どう作られたのか分からない！

Traceability
データ収集追跡管理



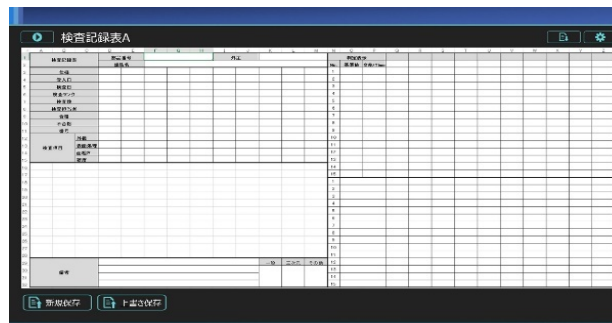
誤出荷が多い！

SimplePicking
簡易ピッキング



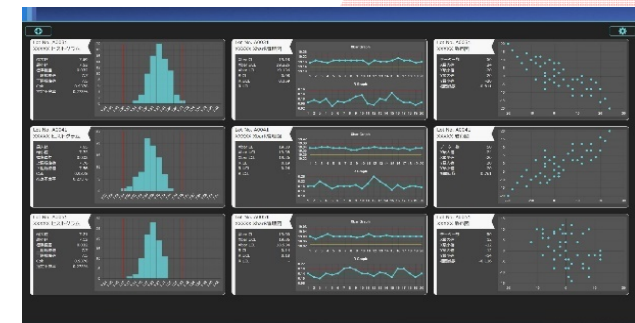
検査内容が整理できない！

SimpleReporter
帳票管理



バラつきをチェックしたい！

QualityMonitor
品質モニタリング

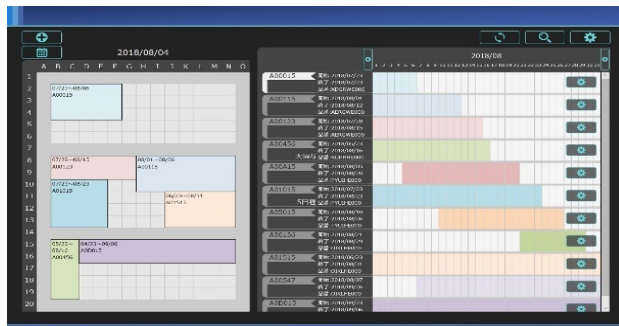


+ FORCE ソリューション例 (2/2)

空き場所を管理できない！

WorkPlace

作業場所管理



どこにあるのか分からない！

LocationManager

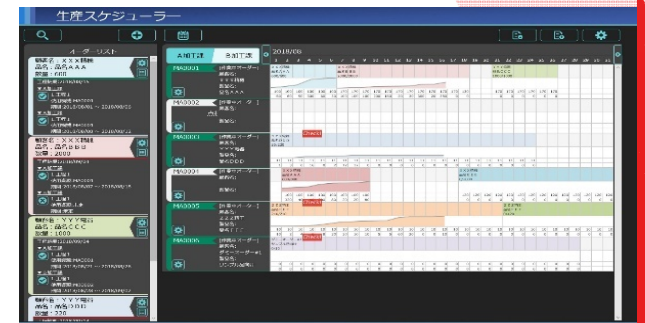
ロケーション管理



計画が現場と合っていない！

SimpleScheduler

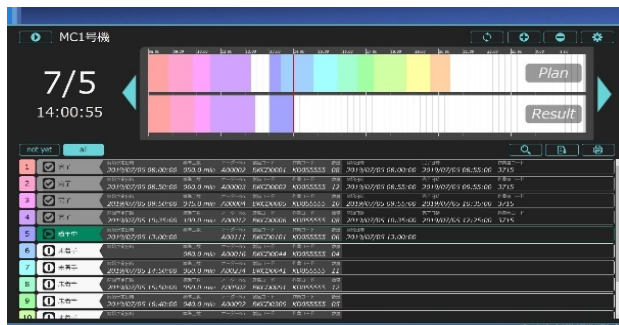
簡易スケジューラー



やるべき作業を確認したい！

WorkTerminal

作業端末



設備を自動で動かしたい！

AutomationEquipment

自動化設備



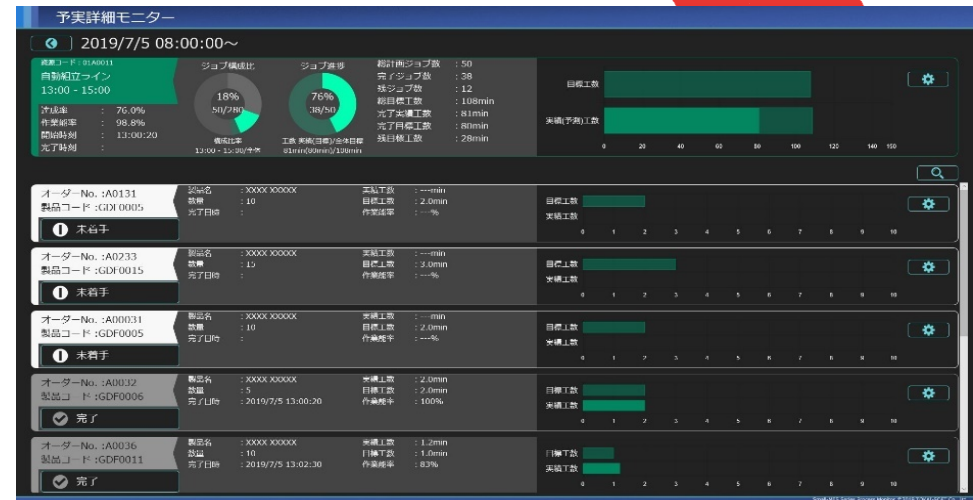
保全作業をやりやすくしたい！

MaintenanceManager

保全管理



事例 工程管理 ProcessMonitor

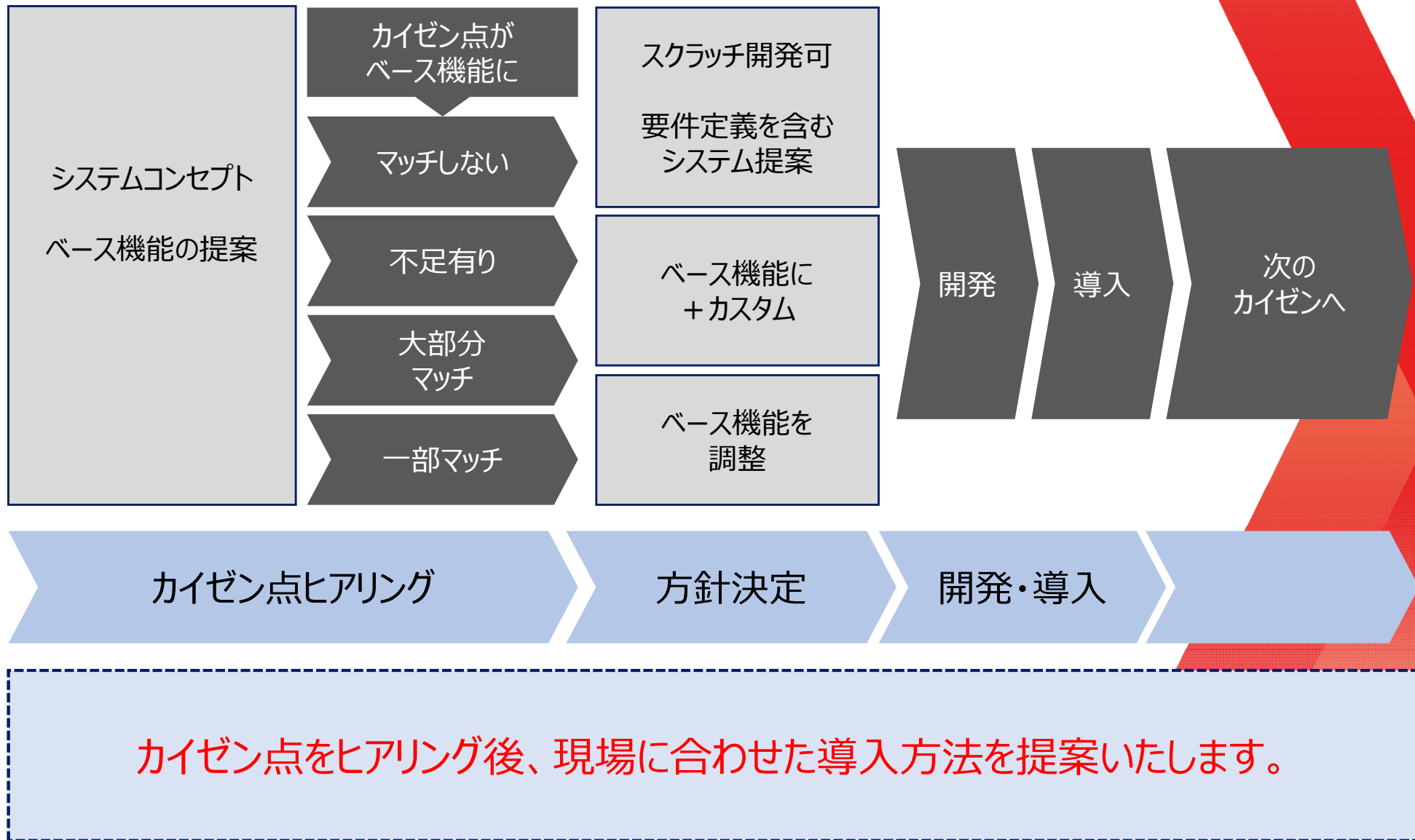


製造工程の進捗状況をリアルタイムに監視するためのシステムです。
 製造計画データと製造実績データを取り込むことで、簡単に工程の進捗状況・勝ち負けを監視・管理することができます。
 計画／実績データの自動取り込み等、現場に合わせたカスタマイズをすることが可能です。

工程のグルーピングの仕方によって色々な生産方式・製造工程に合わせることができます。

想定分野	生産方式			工程								
	ライン生産	セル生産	機能別生産	加工	組立	検査	物流	作業	品質	データ	追跡	管理
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MESA-11	作業のスケジューリング	生産資源の配分と監視	作業手配・製造指示	実績分析	保全管理	工程管理	品質管理	データ収集	製品の追跡と生産体系の管理	作業者管理	文書管理	
						◎		○		○		

+FORCE 導入の流れ



当社は常に、

「ソフトウェア開発を通じて日本の産業界の発展を支える。」という気概を持って
全社一丸となり、事業に邁進し企業価値の向上に努めてまいります。

引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

「顧客に価値を提供し続ける会社」

「顧客・社員・社会すべてに信頼される会社」

本資料に関するご注意について

- ・本資料には作成時点での予測や仮説に基づく記述が含まれています。
これら将来の見通しに関する記述についてはその実現を保証するものではなく、
既知、未知のリスクや各種要因により実際の結果、業績と異なる可能性があります。
- ・本資料に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

お問合せ先 東海ソフト株式会社 経営企画室室長 市野雄志
TEL : 052-563-3572 E-mail : ir@tokai-soft.co.jp